

スピードスケート

全日本選抜八戸大会

スピードスケートの全日本選抜競技会八戸大会最終日は22日、YSアリーナ八戸で行われ、女子1500mでは世界記録保持者の高木美帆（日体大職）が1分55秒60で優勝した。男子1万は土屋良輔（メモリード）が13分16秒10の国内最高記録で制覇。男子1500mは山田将矢（日本電産サンキョー）、女子5000mはウイリアムソンレミ（大東大）が7分12秒50でそれぞれ制した。

<p>11-13位青森県関係分</p> <p>▽1500m ①山田将矢 日本電産サンキョー 1分46秒65 ②土屋良輔（メモリード）1分46秒77 ③近藤ANAエアポルトサビシ 1分47秒25 ④山本大史（八戸西高）1分48秒20 ⑤毛利信太郎（八戸西高）1分49秒06 ⑥清川一樹（八戸西高）1分52秒</p>	<p>99⑨中蔵世八戸商高 東洋大 14分11秒55</p> <p>▽5000m ①高木美帆 日体大職 1分55秒60 ②押切（富士急）1分57秒11 ③高木菜日本電産サンキョー 1分59秒61 ④大岩未奈美（八学大）2分4秒46 ⑤前中喜澄（同）2分6秒37 ⑥根城理実（根城中）2分12秒22 ⑦青森県実業新 中学新</p>
<p>14</p> <p>▽1万 ①土屋良輔（メモリード）13分16秒10 ②小川（栃木県スポーツ協）13分24秒36 ③伊藤（日本電産サンキョー）13分26秒81</p>	<p>▽5000m ①ウイリアムソンレミ（大東大）7分12秒50 ②酒井（富士急）7分13秒15 ③百瀬（信州上諏訪温泉浜の池）7分20秒</p>

大岩力走、自己ベスト

○：女子1500mのときできた。と収穫を語った。大岩未奈美（八学大）は、自己ベストを約2秒縮める力走。9位に終わったが、会ではレース中盤に大幅に「姿勢を低く保ち、水を横に蹴って一歩で長く進むこ



【女子1500m】2分4秒46で9位だった八学大の大岩未奈美（代表撮影）

でテンポを上げ続けることを心掛けた。次の目標は1年の時にマークした5000m、10000mの自己ベスト更新。「姿勢の低さを徹底して今季中に良いタイムを出したい」と意欲を見せた。